

北房文化遺産保存会10周年記念講演会

# 古代英賀郡の世界

入場無料  
予約不要

国指定史跡「大谷・定古墳群」のうち大谷1号墳

私たちの郷土・北房は、古代において「英賀郡」と呼ばれていました。国指定史跡である終末期古墳「大谷・定古墳群」や、当時の仏教文化を今に伝える「英賀廃寺」など、この地には全国的にも貴重な歴史的遺産が数多く眠っています。

今回は講師に、岡山大学文明動態学研究所長の今津勝紀教授をお招きし、研究知見を交えながら「古代英賀郡」の実像に迫ります。北房の歴史的価値を再発見し、未来へつなぐ貴重な機会です。保存会の10年の歩みを振り返るとともに、私たちが暮らす土地のルーツを一緒に学んでみましょう。

**演題** 古代英賀郡の世界

**講師** 岡山大学 今津勝紀教授

**日時** 令和8年7月26日（日）午後1時30分～

**場所** 北房文化センター ホール

**主催** 北房文化遺産保存会

**後援** 真庭市 真庭市教育委員会



講師：今津勝紀教授

1963年、東京都生まれ。1986年、岡山大学文学部史学科卒業。1991年、京都大学大学院文学研究科国史学専攻研究認定退学。現在、岡山大学 文明動態学研究所長・教授。著書に『日本古代の税制と社会』（塙書房、2012）、「古代播磨の『息長』伝承をめぐって」（『日本史研究』500号、2004）、「古代における災害と社会変容—一九世紀後半の危機を中心に—」（『考古学研究』58-2、2011）など